

文京区アカデミー推進計画策定協議会

第2回 国際分科会 次第

日時：平成22年5月17日（月）18:30～20:30

於：文京シビックセンター21階 2101会議室

- 1 開会
- 2 はじめに
- 3 文京区の特徴や課題の再検討
- 4 解決への方向性の検討
- 5 閉会

《配布資料》

【資料国際－第4号】第2回分科会の進め方について

【資料国際－第5号】文京区アカデミー推進計画策定協議会 第1回国際分科会 作業
結果

第2回分科会の進め方について

I 第2回分科会のテーマ

- (1) アカデミー推進計画に関わる文京区の特徴や課題、解決の方向性を確認・再検討する。

II 本日のプログラム

| 時間 | 内容 | 進行役 |
|-----------------|----------------------------------------------------|-----|
| 18時30分 ～ 18時40分 | 1. 開会・挨拶 2. はじめに (1) 本日のプログラムの説明 (2) 質疑応答 | 事務局 |
| 18時40分 ～ 20時30分 | 3. 文京区の特徴や課題、解決の方向性の再検討 (休憩10分含む) | 座長 |
| 20時30分 | 4. 挨拶・閉会 | 事務局 |

III 文京区の特徴や課題、解決の方向性の再検討

分科会では、参加メンバーの主体的な話し合いを促すため、座長の司会進行のもと、以下のような流れで検討を行います。

STEP 1 文京区の特徴や課題について、資料説明を行います【時間の目安：10分】

- 第1回分科会での検討内容をまとめた資料について、事務局より説明を行います。

STEP 2 文京区の特徴や課題について確認・再検討を行います【時間の目安：30分】

- 文京区の特徴や課題について、追加すべき点等を確認・再検討します。意見は、事務局でポストイットに書き取り、模造紙上にグループ分けを行います。

STEP 3 解決の方向性について確認・再検討を行います【時間の目安：50分】

- 課題等に対する解決の方向性について、追加すべき点等を確認・再検討します。意見は、事務局でポストイットに書き取り、模造紙上にグループ分けを行います。

STEP 4 議論の内容のまとめを行い、分野別計画に盛り込む方向性を確認します

【時間の目安：10分】

- 座長が本日の検討の成果を総括し、分野別計画に盛り込む方向性を参加メンバー全員で確認、考えを共有します。

Ⅳ 第3回分科会の検討テーマ

- ◆ 第3回分科会は、本日お出しいただいたご意見を参考に、成文化した各分野別計画の目標・方針の検討を行います。

以上

文京区アカデミー推進計画策定協議会 第1回国際分科会 作業結果

日時：平成22年4月20日

午後18：30～20：30

場所：文京シビックセンター21階 2010会議室

1 「課題の洗い出し・分野別計画の方向性検討」作業結果

第1回国際分科会では、文京区の国際交流に関する特徴や課題、課題に対する解決の方向性について、委員の方から意見を頂き、さらに付箋紙と模造紙を使って整理を行いました。

第1回分科会での作業結果を表にまとめたものが、下記の表1、2、3になります。

表1：「国際交流に関する特徴」について出された意見

| 分類見出し | 委員意見 |
|------------------|-----------------------------------------|
| 外国から来た人が多い | 外国人(有識者)が多いので知的な感じがする |
| | 外国の方が増えた |
| | アジア方面の方が多い |
| | 工業都市(工場のあるところ)のように特定国民(ブラジルとか)が多いわけではない |
| | 留学生・研究者が多い |
| | 留学生が多い(日本語) |
| | 留学生・外国人研究者が多い |
| すばらしい地域資源が多い | 江戸時代からの豊富な文化財 |
| | 「歴史と文化」を活かせる生涯学習ネットワーク |
| | 神社や寺院が多い |
| | 大学が多い |
| | アジア学生文化協会、キーウィクラブが有り |
| | 外国人にとって日本の近代を理解できそうだ |
| | 学校の活用 |
| | 学問の府という感じ |
| 学校(大学)が多いので若者が多い | |
| 意識の高い区民が多い | 高いレベルの知識をもっている |
| | 芸術・文化を愛する人が多い |
| | 国際交流活動と関心の高い区民が多い |
| | 自主性が高い |
| | 個・自分を確立している |
| | 教育熱心な人が多い |
| その他 | 文学や歴史を大事にしている |
| | 新しい住民が増えた 一人世帯(若年層)が多い |

表2：「国際交流に関する課題」について出された意見

| 分類見出し | 委員意見 |
|-------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 国際交流をする場所が少ない | 地域と大学の交流が少ない 世代間の交流が必要 外国人が文化財の価値を正しく理解できる「交流の場」が求められる |
| 国際交流する継続的な取組みが少ない | 交流の機会がない 教育・学校が地域に根づいていない(分離した教育) 豊富な文化財を「発信」している伝達人が求められている 声かけの方法がわからない 小学校は学校内だけ 大学は閉鎖的 予備軍(交流したいけど踏み出せない)の取り込み不足 宿舎には立ち入れない 地味な国際交流が少ない(生活上) |
| 周知方法・手段が不明 | どうしたら住民と留学生が交流できるか…住民の高齢化 |
| 交流の窓口 | 交流の窓口がわからない 国際交流を取りまとめる大きな組織がない |
| 多言語対応の店が少ない | 秋葉原のような外国語対応の店が少ない |
| 古いものに固執している | 伝統を新しい歴史に変える 新しい目を向けて欲しい 新しい住民と昔から住民のつながりが少ない 住民に特徴(予備軍)がないため、国際交流にとって若干問題 個を強調しすぎる 他を受けいれない |
| 施設の使い方 | 交流の場がわからない |
| 交流・ネットワークが図れていない | 人材が地域に残らない 在勤者・在学者への文京を知る機会 |
| 交流の目的は | 国際交流は市民同士 市民が自主的に継続して交流すること(事務局より) |

表3：「課題に対する解決への方向性」について出された意見

| 分類見出し | 委員意見 |
|------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 交流の場の充実と使いやすさの促進 | ”顔の見える自治体”として地域文化を促進できる仕組み(人材・交流の場)が求められる。 「交流センター(仮)」を中核として「ミューズネットワーク」等の「場」を再構築する 伝達人ジュニアとして国際交流に参加できる小・中・高校生を育成する 交流の資源の活用(図書館 etc) 町会、地区対のイベント活用 自治会(町会等)の開かれた運営 |
| 参加しやすい機会づくり | 交流に対して→大学生、留学生、住民によるイベント |
| 地域の受入体制づくり | 小・中学校向けに各国の紹介 |
| 交流の担い手育成 | 区講座を育成された人材の活用により歴史と文化を海外に伝達する 文京の大学生に教育ボランティアを 外国人の人材を発掘したい |

次ページへ続く

| | |
|---------------------|--------------------------------------------|
| 文京区らしい交流促進 | 姉妹都市交流 |
| | 生活文化でのコミュニケーションができる |
| | 区民生活レベルでの学び支援 |
| 区民・事業所 etc への理解促進教育 | 国際理解教室(主催を区民に募集) |
| | 古いものを大事にしている所、神社等を開放したらどうか |
| | 中小企業に対する英語講座・商品確立(外国人向け?) |
| 効果的な PR 策の推進 | 文京区の魅力や良さを見出し伝える |
| | 文京区の魅力の PR |
| | インターネット活用(地域 SNS 等含む) |
| | 文京区のアピール→外国人に文京マップ作りに参加させたらどうか 観光資源の活用 |
| 文京区を理解しやすいツールづくり | 市民の目から見た文京区の歴史を伝える |
| | 文京文化の海外 PR |
| | 世代に応じたプログラム(スポーツ、伝統文化) |
| | マップ作り(店、歴史・文化、資源)案内版 商店連合、会社等 |
| | 文京区のピーアール→大学等に協力してもらい、外国の知識人のセミナー開催をたくさんする |
| 交流の窓口 | アカデミー分科会毎に交流の窓口を作る |
| | 継続的事業を実施するための組織づくり |
| | 交流コーディネーターお困り(お悩み)相談 |
| 周知方法・手段が不明 | フリーダイヤル、ロコミ、フリーHP、掲示板 |
| 施設の使い方 | 交流に対して→区の施設の利用、文京国際交流村(大学で留学生でも参加他) |
| | 和敬塾は地の利のせいで早大の大学院生が多い。活用を! |
| ネットワークが図れていない | 人材・施設(既存)のネットワークによる国際交流の「仕組み」づくり |
| | 地域毎とイベントに交流の場を設ける |

以上